

## 「ICT 利活用鹿児島地域勉強会」を開催しました

九州総合通信局（局長：上原 仁）は、平成27年2月10日（火）、鹿児島県電子自治体運営委員会、(株)鹿児島頭脳センターとの共催により、本年度2回目となる「ICT 利活用鹿児島地域勉強会」を、かごしま県民交流センター（鹿児島市）で開催し、34名の参加がありました。

今回の勉強会では、総務省地域情報化アドバイザーの武城文明氏（埼玉県行政ITアドバイザー）を講師にお招きし、「自治体クラウドの円滑な導入に向けて」と題して事例研究講座を開催しました。



武城氏からは、コスト削減を大原則に、適正なシステム導入には、先ず相手を知ることが必要と述べられ、ITベンダーの現況とコンピュータシステムの変遷を紹介されました。従来の情報システムが、自治体ごとのオーダーメイドであるのに対し、クラウドはITベンダーが提供する既製品であること、他社にリプレースできない情報システムは存在しないこと、適正なシステム導入には複数社の見積もりをとること、見積もり金額に加えて、提出を求める資料や確認する事項等の紹介と解説がありました。

事例として、講師自身関わっておられる埼玉県内18町村の共同化等の事例をもとに、自治体内、自治体間の合意形成の方法、ベンダー選定の留意点等を話していただきました。最後に、マイナンバー制度導入のスケジュールと自治体が取り組む項目を情報システムの観点から紹介されました。

参加者の方々はメモを取りながら熱心に聴講され、アンケートには「体験を踏まえた講演でとてもわかりやすかった」、「クラウドに限らず、システム発注全般の知恵として参考になった」など、これからの業務で参考になる、との感想が寄せられました。

お問い合わせ先：情報通信連携推進課（096-326-7314）